

令和3年度 山梨県立中央高等学校・定時制 評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 自尊感情を高め、社会の中で自立する生徒を育てる。

山梨県立中央高等学校校長 古屋はるみ

本年度の重点目標	1 自ら進んで学習に取り組む意欲を高め、確かな学力を育成する	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 CHUOハーモニックプランに基づき、社会において自立できる力を育てる		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 自主的に健康で安全な生活を送ることのできる実践力を育てる		C 不十分である。(4割以上)
			D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
番号	本年度の重点目標		年度末評価(令和4年2月)
	評価項目	具体的方策	自己評価結果 達成度 成果と次年度への課題・改善策
1	<p>自ら進んで学習に取り組む意欲を高め、確かな学力を育成する</p>	<p>・生徒の学習意欲を高める教材や自己の在り方・生き方についての考察を深める教材の工夫 「基礎・基本の定着と学びに向かう力」「多面的・多角的に考える力」「本質的な問いかけ」「ICT活用」</p> <p>・相互授業参観や授業アンケート結果を活用し、いわゆる「アクティブ・ラーニング」の視点などに立った授業実践と授業改善の工夫</p>	<p>・生徒による評価アンケートの結果、「意欲的に参加している授業がある」生徒は81%、「好きな授業がある」生徒も78%、保護者による評価アンケートにおいても「生徒は授業がわかりやすい」と言っている。保護者が82%という結果であった。数値的には概ねよいと評価できるが、アンケート全項目の中では下位の評価となっているものもあり、さらに改善の余地がある。</p> <p>・生徒の家庭学習時間については「全くない」生徒が昨年より10%増え46%とほぼ半数に上り、学習意欲が総じて高いとは言えない。</p> <p>・職員の評価アンケート「主体的・協働的な学び(アクティブ・ラーニング)などを取り入れて、自ら学び自ら考える力を育成している」職員が86%と、昨年より5%以上向上した。また、自己観察書に記載された授業アンケートの結果は肯定的なものが大半をしめるなど良い方向へ進んでいる。</p>
2	<p>CHUOハーモニックプランに基づき、生徒が社会において自立できる力を育てる</p>	<p>・分掌や年次を俯瞰したハーモニックプランの実践</p> <p>・個に応じたきめ細かい指導、育成意図を明確にした指導の実践</p> <p>・「通級指導」の検証と今後の方向性の検討</p> <p>・多様化する生徒に対する指導の多様性を認め合い、学校全体として適切な指導が行われるような教員間の役割分担や協力体制の構築</p>	<p>・生徒による評価アンケートの結果、「CHUOハーモニックプランの目標である、私もやればできるかも、私には価値があるかもといった自信が以前より持てるようになってきている」肯定的評価の生徒は80%、「学校は、全ての教育活動において、一人一人の生徒を大切に育てる姿勢で指導に当たっている」と回答した生徒88%、職員によるアンケート「ハーモニックプランの具体的な実践がなされ、生徒の自尊感情の向上や社会性育成が図られている」と回答した職員95%と実践状況は概ね良好であった。</p> <p>・保護者によるアンケート結果では「CHUOハーモニックプランについて知っている」保護者が76%と低く、保護者が生活に追われ学校に関心を持つ余裕がないことも考えられる。</p> <p>・「通級による指導」については、10名以上の生徒が履修し、生徒も前向きに取り組んでおり、それぞれの課題の克服に向けて少しずつ前進している。</p> <p>・職員によるアンケート「支援から自立、支援から外部支援へと繋げる体制づくりがなされている」は100%の肯定的評価であった。SSW(スクールソーシャルワーカー)を活用し外部機関との連携を行い、生活改善や対応の検討のためのケース会議等を行うこともでき、支援体制を構築できている。</p>
3	<p>生涯を通じて自主的に健康で安全な生活を送ることのできる実践力を育てる</p>	<p>・工夫した防災避難訓練など防災教育の充実</p> <p>・命の教育やアンガーマネジメントなどメンタルヘルス研修の実践</p> <p>・職員の心身における健康づくりの推進</p>	<p>・生徒による評価アンケートの結果、「学校は、地震や火災などの災害が起こった場合、どのような行動をとればいいのかわかるような訓練を実施している」96%、「学校は、安全・安心な環境だと思える」89%という結果であり、防災や生徒の安全確保の面では概ね目標を達成できた。</p> <p>・教職員対象定通合同研修会として、講師を招聘して「アンガーマネジメントを活かした学校教育の在り方」について研修を行った。参加者の満足度も高く、生徒支援スキルの向上に役立った。また、生徒へも「アンガーマネジメント」や「命の教育」の授業実践を行い好評であった。</p> <p>・職員の健康管理については、職員健康診断や職員巡回健康相談を実施する中で、メンタルヘルスの実施や情報の提供を行った。年間を通じ職員が欠けることなく勤務できたことは評価できる。</p>

学校関係者評価	
実施日 (令和4年2月中旬)	
評価	意見
4	<p>・学習意欲を高める教材といっても、外部には分からないと思うので、簡単なもので良いので、学校評議員に対して指導案や授業プリントを見せると良いと思う。</p> <p>・「基礎・基本の定着」、「本質的な問いかけ」についても学校評議員に対して具体例を出してもらいたい。</p> <p>・校長先生をはじめ先生方は多くの生徒を抱え、多くの目標を立て、多くの仕事をされ、本当に大変なことだと思います。ご努力に敬意を表する。</p> <p>・過去の定時制の生徒は職場が生活の主であり、学校はその次であった。仕事の時間が生活のほとんどであるので、学習時間が取れなかったり、学習意欲が乏しい生徒が多かった。最近では仕事を持たなかったりアルバイト程度で時間に余裕がある生徒が多くなっている。そのような生徒に、学習意欲を持たせることが今の中央高校の課題であろう。生徒に今後の人生をいかに生きるかを考えさせ、そのためには今何をしなければならぬかを理解させることが大切である。また、学習意欲を向上させるためには、教材や教科指導の研究も必要である。</p>
4	<p>・保護者によるアンケート結果では「CHUOハーモニックプランについて知っている」保護者が76%と低く、職員がもっと保護者に啓蒙活動をしてもらいたい。</p> <p>・保護者のコメントに「いつもご指導ありがとうございます。」「子どもの自尊心や人権を尊重された…」とあり、これが全てで、先生方の努力が報われたと思っている。</p> <p>・アンケート結果から、生徒・保護者・職員に学校の教育活動を理解してもらうのは難しいこと、外部の者にはもっと難しいと改めて考え、これらの回答結果に真摯に向かい合い、良いことも悪いことも不十分のことも開示し、改善していくことが大事と考えます。</p> <p>・ハーモニックプランは素晴らしい取り組みだと思います。その目的・意図が十分機能し生徒に伝わるよう、生徒のニーズも取り入れながら、更に工夫・改善を図り、積極的に推進してほしいと思う。多種多様な生徒に対応するためにSST(ソーシャルスキルトレーニング)の推進やSSW(スクールソーシャルワーカー)・SC(スクールカウンセラー)との連携を密にして下さい。また、先生方のコーチングマインドの更なる向上と校内・校外研修への計画的な参加により資質向上を期待する。</p>
4	<p>・定時制・通信制合同研修会を開くなどしており、アンガーマネジメント等を取り入れ、きめ細かく対処し、また、生徒へも平常心を植え付けさせアンガーマネジメントの精神面、命の教育を行っており十分目的を果たしたと思う。</p> <p>・職員は精神衛生に心がけており、また、職員に対しても情報提供も行っており、健康づくりの推進では評価したい。</p> <p>・生徒とのコミュニケーションはもちろん、保護者との連絡も密にして情報を共有しながらきめ細やかな指導をお願いする。そのためには三者間で信頼関係を構築することが必要ですので、気楽に相談できる雰囲気作りを行いつつ、粘り強い働きかけをしてほしい。</p>

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。